

令和3（2021）年度

## 地域学校協働活動推進員養成研修④ 実施報告

実施日：令和3年9月28日（火）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Zoom を活用したオンラインでの研修実施となりました。

### 講話・演習「ファシリテーションの技術」

宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 石井 大一郎 氏



午前は、地域学校協働活動における話合いの場の設定やファシリテーターの必要性について、様々な切り口からお話いただきました。「上手なファシリテーターとはどのような人なのか」について考えるワークでは、受講者はファシリテーターとして必要なことに気付くことができました。まとめとして、ファシリテーションの知識を身に付けることは大切だが、その知識を活用し、自分の関わる話合いの場を変えていくことが重要であると話がありました。



午後は、ファシリテーションの概念や留意点、ファシリテーターのコミュニケーション術について、お話いただきました。全体で午前に行ったワークの発表を聞いた後、ブレイクアウトルームで発表の振り返りを行って、受講者同士でそれぞれの考えを共有しました。最後に、ファシリテーションの疑問点について、石井先生から事例を交えながら説明がありました。そして、受講者は、学んだことを確認しながら、ファシリテーターとして明日からの実践に向けて生かしていきたいことをグループ内で表明しました。これからの活動への意欲も高まり、実践的な学びとなったようです。

\*\*\*\*\*

#### 【受講者の感想から】

- ファシリテーターについて深く知ることができ、とてもためになりました。皆さんの貴重な意見を聞く機会もあり、良かったです。
- メンバーの意見をよく聞くこと、ファシリテーションは、全員で決め納得を共有することと理解しました。このことは、地域のイベントや職場の活動においても、とても役に立つことであると認識しました。今日、受講して学んだ技術を意識して、できることから実践したいと思います。
- とても緊張感があり、学び多く、実践に活かしていこうと思える充実した内容でした。今後このスキルを活かしていけるチャンスはあるので今回の学びを存分に活かしていきます。
- これからの活動の中では、今までの人に頼るのではなく、新しい人との繋がりにチャレンジしていきたいと思いました。人とのコミュニケーションが、練習の場だと思うので、構える事なく、一歩踏み出せたらと思いました。
- ファシリテーションの4つの観点、コミュニケーション術、問題に対しての具体的な対応など大変参考になりました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp